

北九州市からIターン。中学生の頃からなりたかった漁師に！

かまた しょうへい

奈留町漁業協同組合 鎌田祥平さん 38歳

漁業歴 1年

鎌田さんは、一本釣り(イサキ、ケンサキイカ等)や曳縄漁業を営んでいます。

鎌田さんは、漁師になる夢を叶えるため、三十七年間働いていたサラリーマンを辞め、三十五歳の時に一人で五島にきて、漁師を志しました。自分でネットを調べ、行政機関にも問い合わせ、さらに就業フェアに参加し、大海原の五島で漁師になりたいと思ったそうです。

五島に来て、まず最初は師匠や先輩の漁師から漁の技術指導を受けるとともに、日ごとの漁獲量のむらが大きい漁業の厳しさを体験しました。しかしながら、長年漁で生計を立てているベテラン漁師は、漁場や対象魚種を替える等、水揚げを待ち続けることで、確実に年間一千万円程度を水揚げする生活力があることに大変、感動を受けました。

独立後は、漁がバツリ止まって不漁が続くと、生活資金に不安を覚える漁師が続く。その意欲がくじけそうになることもあり、それでも、たとえ油代程度の収入(一獲量)しか期待ができなくても、暇さえあれば、漁に出ています。

現在、鎌田さんは、奈留島地区で最も熱心な若手漁師に成長しましたが、ちょっと魚釣りの魅力に取り憑かれ過ぎて、家族と一緒にいる時間や睡眠時間が足りなくて困っています。



鎌田さん

経歴



鎌田さんの所有船(福智丸)

18歳

高校卒業後、サラリーマンになる

中学校卒業と同時に漁師になる夢を持っていたが、当時はなるすべがわからずに高校に進学。卒業後は、福祉関係の産業用機械の製作会社のサラリーマンに。

35歳

一人で奈留島に移住

漁師になる決意を固め、一人で奈留島に移住。師匠や先輩から技術指導を受け、見習いで漁業に従事することになった。地域に根づき始めるとともに魚釣りの魅力も深まっていた。

38歳

家庭を持って、漁業に夢中

見習い期間が終了し、独立。海が広いでいたら、帰らずに漁を続けている。油代や睡眠時間がもったいないから、沖で寝泊りすることもよくある。昨年結婚し、一女を授かる。

鎌田さんの一日の様子

起床	16
出航	17
漁場・準備	19
操業	20
	24
	5
帰港	7
出荷	9
就寝	10

夕方17時に相ノ浦港を出港。約1~2時間程度かけて漁場に到着！

漁場選定後、アンカーを急いで打ったり、魚槽の準備を行う。

20時頃から操業開始。一本釣りを9時間行う。漁場を何回か変える。

早朝5時に終了。

朝方7時に帰港。

漁協へ出荷。漁具・漁船の手入れや片付け。

*毎日出漁する時は、睡眠時間が最高6時間と少なくなる。



年間操業スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一本釣り				マアジ	イサキ		ケンサキイカ			青物(ブリ、ヒラマサ等)		
曳縄	タチウオ											

家族(妻)について

出会いは、奥さんが奈留に遊びに来て宿泊した旅館でした。鎌田さんは、旅館主と知り合いで、たまたま、遊びに行ったら出会ったそうです。生まれも育ちも違う二人が、遠い異郷の地五島奈留島で家族となったことに深い縁を感じます。

現在、奥さんは、子育て等家事・育児に大忙しで、鎌田さんにも家事を手助してもらいたいそうですが、鎌田さんが一日中大好きな漁業に没頭していることについては、理解を示されています。鎌田さんも奥さんの理解に対して大変感謝しています。なお、時化で漁に出られない場合に、二人でちょっとお酒が飲めることも、大変楽しみにしています。

漁業以外の活動の様子



壮大な自然と対峙して

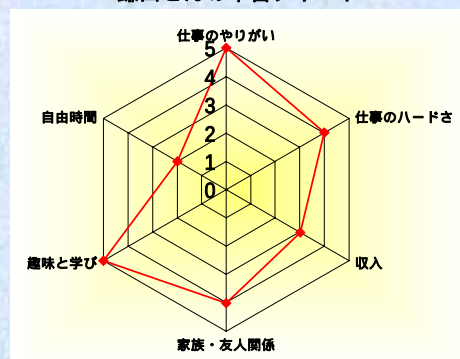
真っ赤な夕日に向かって、出港しているところ。



船祝いの風景

鎌田さんが、生まれて初めて船を手した。

鎌田さんの本音チャート



「仕事や家族、余暇については、全く問題はないのですが、大変忙しくて休息が取れないことがちょっときついです。」